

○氏名

西内 豊（にしうち ゆたか）

○生年月日

1953年1月18日

○最終学歴、最終卒業年

1975年3月 高知大学農学部林学科卒業

2002年3月 愛媛大学大学院連合農学研究科満期退学

2002年9月 愛媛大学大学院連合農学研究科より博士（農学）授与

○所属機関

高知県工業技術センター

○受賞題目

**高知県産スギ材の利活用による地域産業への貢献**

氏は高知県産スギ材の住宅部材、特に構造用部材への利活用を推進するため、地域の産業界及び大学等関係機関と連携して、スギ材の加工技術に関する研究開発・技術支援に取組み、高知県木材産業の振興に努めた。

まず、地域スギ材の用途開発のため、スギ材の基礎的材質・強度性能を明らかにし、その成果を木材・建築業界対象の講習会等で精力的に発信すると同時に、スギ材の特性を活かした建築部材の製品開発に取組んだ。高信頼性の構造用集成材、接着重ね梁やパネル部材は、地域企業による製造・販売に繋がった。また、スギ材の強度性能に関する研究開発を行う中、木材の「機械的強度等級区分装置」を同県の機械メーカーと共同開発し、（社）全国木材組合連合会から認定1号機として登録された。さらに、開発した部材の普及のために、（社）高知県建築士会や地域の工務店と連携してパネル工法や接合技術等の工法の開発にまで取組み、それらは同県内の一般住宅や公共建築物に実用化された。この一部が高知県地場産業大賞を受賞した。

以上の内容は日本木材学会及び同中国・四国支部会で発表した。氏は現場を重視し、企業の製造現場と直結させる姿勢を一貫させた。なお、建築業界との絆を深めるため、1992年に2級建築士の資格を取得し、高知県建築士会に入会した。2005年から所属機関の所長として、木材関係に加えて機械金属、食品等、幅広く地域産業の振興に貢献している。